

平成19年7月24日

各位

会社名 株式会社 三ツ星
 代表者名 代表取締役社長 塚本 洋一
 (JASDAQ・コード5820)
 問合せ先 執行役員経理部長 塚本 一男
 TEL 06-6762-6939

平成20年3月期中間期(連結・個別)及び
 通期(連結・個別)の業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月10日付当社「平成19年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

[] 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------|-------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 6,093 | 121 | 125 | 57 |
| 今回修正予想(B) | 6,265 | 196 | 205 | 103 |
| 増減額(B-A) | 172 | 75 | 80 | 46 |
| 増減率(%) | 2.8 | 62.0 | 64.0 | 80.7 |
| 前中間期実績 (平成19年3月期中間) | 5,968 | 212 | 231 | 147 |

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------|--------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 12,276 | 288 | 291 | 138 |
| 今回修正予想(B) | 12,449 | 363 | 371 | 184 |
| 増減額(B-A) | 173 | 75 | 80 | 46 |
| 増減率(%) | 1.4 | 26.0 | 27.5 | 33.3 |
| 前期実績 (平成19年3月期) | 12,118 | 354 | 381 | 151 |

[] 個別業績予想の修正

(1) 中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------|-------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 5,635 | 113 | 116 | 61 |
| 今回修正予想(B) | 5,730 | 124 | 130 | 68 |
| 増減額(B-A) | 95 | 11 | 14 | 7 |
| 増減率(%) | 1.7 | 9.7 | 12.1 | 11.5 |
| 前中間期実績 (平成19年3月期中間) | 5,548 | 192 | 208 | 142 |

(2) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------|--------|------|------|-------|
| 前回発表予想(A) | 11,346 | 260 | 260 | 138 |
| 今回修正予想(B) | 11,441 | 271 | 274 | 145 |
| 増減額(B-A) | 95 | 11 | 14 | 7 |
| 増減率(%) | 0.8 | 4.2 | 5.4 | 5.1 |
| 前期実績 (平成19年3月期) | 11,269 | 300 | 320 | 140 |

[] 業績予想の修正理由（連結・個別）

平成20年3月期の業績につきましては、平成19年5月10日に公表いたしました予想を修正し、中間期（平成19年4月～平成19年9月）は、売上高6,265百万円、営業利益196百万円、経常利益205百万円、中間純利益103百万円とし、通期（平成19年4月～平成20年3月）については、売上高12,449百万円、営業利益363百万円、経常利益371百万円、当期純利益184百万円といたします。

業績修正の主な理由は、次の通りです。

電線事業の第1四半期は、銅価格が予想を上回る高値圏で推移したため、顧客の買い控え意識が強まり受注量は伸び悩みましたが、販売価格の適正維持に努めた結果、売上高、経常利益とも予想を上回る結果となりました。当面、銅価格は現在の価格水準を維持すると思われそうですが予断を許さない状況であり、石油化学製品などの原材料も値上がりするなど厳しい経営環境が予測されます。新規顧客の開拓など拡販に努めるとともに、原価低減活動に注力いたします。

その他事業におけるシルバー鋼機株式会社の電熱線・帯およびステンレス鋼線・帯に係わる事業における前期（平成19年3月期）の業績は、原材料であるニッケルの価格の急騰に伴う製品価格の先高感を背景とした、発注の前倒しなどにより販売が大きく伸び好調に推移いたしました。今期においても設備投資の増加や需要の増加などを背景に、売上高は前期の好調さを維持し推移いたしました。その結果、中間期において、売上高、利益とも大幅に予想を上回ることになり修正いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状態等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

以上